

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	1 アフターコロナを見据えた地域経済の回復と物価高騰への対応について	<p>【要旨】 アフターコロナを見据えた地域経済の回復と、物価高騰への対応について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 コロナ禍やウクライナ侵攻の影響による原油価格や電気・ガス料金、穀物価格を含む物価の高騰により、市民生活、事業者の負担は増大しております。現在、国の物価高騰支援策のほか、県におきましても、バス・タクシー事業者支援や、LPガス価格高騰対策、配合飼料価格安定緊急対策をはじめとする支援策を行っていただいているところです。</p> <p>また市においては、国の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用し、物価高騰の影響を受けている市民や事業者、農業者への支援を行っております。</p> <p>しかしながら、連日報道されているように、電気料金を始めとするエネルギー価格や食料品価格等の物価高騰は未だ消息の気配を見せず、今後も市民生活や事業者の経営に大きな影響を与えるものと思われます。</p> <p>つきましては、アフターコロナを見据えた地域経済の回復への後押しとなるよう、県と市町村の密接な連携による物価高騰への対応について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>記</p> <p>1 電気料金を始めとするエネルギー価格高騰や、食料品価格、飼料価格高騰など、物価高騰に直面する市民、事業者、農業者の負担軽減に向けた継続的な支援</p>	<p>1 原油価格をはじめとする物価の高騰が、市民生活や経済活動に影響を及ぼしています。</p> <p>現下の物価高騰の状況を踏まえ、県では、国の経済対策に呼応し、原油価格や物価高騰等の影響を顕著に受ける低所得世帯をはじめとした生活者支援、中小企業者や農業者等への支援に係る補正予算を緊急的に編成するなど、いち早く対策を講じてきました。</p>	県北広域振興局	経営企画部、保健福祉環境部、農政部	A:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
			<p>生活者支援としては、低所得のひとり親世帯を対象に、国の子育て世帯生活支援特別給付金の給付に係る予算を措置したほか、一般家庭等へのLPガスの料金を割引する小売事業者及び工業用としてLPガスを使用する中小企業者に対する支援金の支給に係る予算を措置しました。</p> <p>加えて、社会福祉施設及び医療施設等に対し、支援金を支給しました。</p> <p>公共交通事業者への支援については、安全かつ安定した運行を維持し、地域住民の移動手段が確保できるよう、令和2年度から令和4年度にかけて運行支援交付金の交付などを行ってきました。</p> <p>令和5年度においては、バス及びタクシー事業者を支援するため、補正予算でコロナ禍や燃油費高騰の影響を踏まえた交付金を措置しました。</p> <p>農業者の支援については、これまで、全国知事会と連携しながら、国に対し、生産資材等の価格高騰対策の拡充などを提言するほか、農業経営の安定に向け、肥料や飼料の価格上昇分を補填する国事業の活用を進めるとともに、県独自に、肥料や飼料の購入費、肥料コスト低減に必要な機械導入、農業共同利用施設の省エネ化への支援などを実施してきました。</p> <p>農業生産資材の価格は低下傾向にあるものの、令和5年12月現在の価格は、高騰前の令和2年と比べ、肥料、飼料とも約4割高く、依然として、農業経営に大きな影響を与えています。</p> <p>このため、これまで措置した支援を迅速かつ確実に実施するとともに、化学肥料の使用量を低減する堆肥等の活用や、飼料基盤を積極的に活用した自給飼料の生産拡大を推進しており、引き続き、農業経営の安定が図られるよう、取り組んでいきます。</p> <p>今後も状況を注視しながら、全国知事会と連携し国への提言・要望を行うとともに、適時適切に必要な対策を講じていきます。</p>			

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p>2 地域経済を活性化させるための積極的な消費喚起対策や、観光の活性化への支援</p>	<p>2 県では、コロナ禍やエネルギー価格・物価高騰等の影響による消費喚起策として、令和4年度から民間事業者・団体等による飲食店・商店街等の利用を促進する「飲食店・商店街利用促進費補助」を実施しており、令和5年度は予算を増額して継続的に支援を行ったところです。</p> <p>また、観光需要の喚起を図るため、国の補助金を活用し、令和3年4月から「いわて旅応援プロジェクト」を実施したほか、令和4年11月からは貸切バス・貸切タクシーの利用促進のための運賃・料金の補助を実施しました。</p> <p>なお、国に対しては、全国旅行支援「いわて旅応援プロジェクト」終了後も、事業終了に伴う反動減に対応した支援や、インバウンドの早期回復に向けて、海外へのプロモーションなど、国際観光を推進していくための新たな交付金制度の創設など、十分な支援策を講じるよう要望しています。</p> <p>今後も引き続き、物価高騰等の影響を注視しながら、必要な支援について検討していきます。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	2 公民連携で取り組む持続可能なまちづくりへの支援について(天台寺周辺地区)	<p>【要旨】 住民と行政が互いの役割を担い、公民連携で取り組む持続可能なまちづくりへの支援について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 本市は、二戸市総合計画後期基本計画の共通政策として「公民連携」と「人づくり」を掲げ、天台寺周辺、九戸城跡周辺、金田一温泉周辺の3地区において、住民と行政がそれぞれの役割を担い連携し、新たな交流を創出しながらエリアの価値向上による持続可能なまちづくりを目指すこととしています。</p> <p>(1) 天台寺周辺地区 天台寺周辺地区は、360年振りの大修理を終えた天台寺や国指定文化財を収蔵する重要民俗文化財収蔵庫など「漆文化」と密接な関わりがある施設が集積しており、また、日本遺産認定、ユネスコ無形文化遺産登録により、日本文化を支える産地としての評価が高まっています。</p> <p>本市では、令和4年度までの3年間、日本遺産認定による国庫補助等を活用しながら、漆がもつ価値をトータルに体験できるエリアの創造に向けた取組を進めてまいりました。</p> <p>そして、令和5年度は、日本遺産の中心となる天台寺を核とした「漆の郷」の実現を目指し、交流人口の増加に向けてエリア内の環境整備を進めることとしています。</p> <p>つきましては、日本一の漆産地、東北の古刹・天台寺という地域特性を最大限に生かし、漆産業振興と人の交流が連動し、地域経済が循環するまちづくりを推進するため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>		県北広域振興局		

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日本遺産やユネスコ無形文化遺産の価値を体感できる文化財収蔵庫の改修など、漆と天台寺を核としたエリア整備への支援</p>	<p>1 「浄法寺の漆掻きと浄法寺塗の用具及び製品」は国の重要有形民俗文化財であり、収蔵施設の保存環境を良好に保つ必要があるため、改修にあたっては文化庁の担当調査官との協議が必要となります。県教育委員会では、改修に係る担当調査官との協議を円滑に進めるため、文化庁との連絡調整を行ってきたところであり、引き続き支援していきます。</p> <p>また、平成30年の文化財保護法改正により、文化財の保存・活用に関する基本的なマスタープラン兼アクションプランである「文化財保存活用地域計画」の作成が制度化されました。市町村は、この計画を作成することで、まちづくりや観光などの他の行政分野とも連携し、総合的に文化財の保存・活用を進めることができるようになり、国庫補助事業の優先採択や補助率の加算などの優遇措置を受けることが可能となります。県教育委員会では文化庁と連携し、地域計画を作成する市町村に対して人的・技術的支援を行っていきます。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>県北教育事務所</p>	<p>A:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	3 公民連携で取り組む持続可能なまちづくりへの支援について(九戸城跡周辺地区)	<p>【要旨】 住民と行政が互いの役割を担い、公民連携で取り組む持続可能なまちづくりへの支援について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 本市は、二戸市総合計画後期基本計画の共通政策として「公民連携」と「人づくり」を掲げ、天台寺周辺、九戸城跡周辺、金田一温泉周辺の3地区において、住民と行政がそれぞれの役割を担い連携し、新たな交流を創出しながらエリアの価値向上による持続可能なまちづくりを目指すこととしています。</p> <p>(2) 九戸城跡周辺地区 九戸城跡周辺エリアでは、二戸駅と九戸城跡を結ぶ古くからのまち並みと新しいまちを周遊し、史跡九戸城跡を核として新たな人の流れと賑わいを創出できるようなまちづくりを目指しているところです。</p> <p>令和2年度に策定しました第2次二戸市都市計画マスタープランにおきましては、本市の新たな核となる北東北の玄関口である二戸駅前、石切所荷渡地区と、新しい人や文化の流れと歴史的文化的融合によるにぎわいの創出を担う地域である福岡五日町地区、九戸城跡周辺を中心に位置付け、長期的な視点でまちづくりに取り組んでおります。</p> <p>現在、県工事による岩谷橋の架け替えが本年中に完了する見込みで、順調に工事が進んでいることに對しまして、感謝申し上げます。</p> <p>九戸城跡の第2期整備工事については、本丸と二の丸の一部の整備が完了し4月下旬から一般開放されるとともに、また、地域内においても若手の方々が積極的にイベントの実施に取り組むなど、周辺地域のまちづくりに向けた機運が高まっているところです。</p> <p>つきましては、史跡九戸城跡を核として、地域の精神文化の礎を築いた先人が歩んできた歴史を体感でき、賑わいのあるまちづくりを進めるため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>		県北広域振興局		

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 賑わいを創出するエリアとして、歴史を感じられる街並みを発信できるよう、岩谷橋から裁判所通り周辺の道路やガイダンス施設や歴史民俗資料館の移転整備への支援</p>	<p>1 九戸城跡の整備については、県の専門職員が「九戸城跡整備指導委員会」に出席しての助言や、国庫補助等における国との調整を通じて支援を行っているところです。今後も、史跡整備の一環として行われるガイダンス施設の設置については、県が持つ他の史跡ガイダンス施設の情報の提供や、国と連携しながら計画の作成に係る助言を行うなどの支援を行いたいと考えています。</p> <p>また、平成30年の文化財保護法改正により、文化財の保存・活用に関する基本的なマスタープラン兼アクションプランである「文化財保存活用地域計画」の作成が制度化されました。市町村は、この計画を作成することで、まちづくりや観光などの他の行政分野とも連携し、総合的に文化財の保存・活用を進めることができるようになり、国庫補助事業の優先採択や補助率の加算などの優遇措置を受けることが可能になります。県教育委員会では文化庁と連携し、地域計画を作成する市町村に対して人的・技術的支援を行っていきます。</p> <p>市道裁判所通り線等の整備については、今後、貴市の整備計画が具体化していく中で、国の交付金制度の活用などについて、助言していきます。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>土木部、県北教育事務所</p>	<p>B:2</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	4 公民連携で取り組む持続可能なまちづくりへの支援について(金田一温泉周辺地区)	<p>【要旨】 住民と行政が互いの役割を担い、公民連携で取り組む持続可能なまちづくりへの支援について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 本市は、二戸市総合計画後期基本計画の共通政策として「公民連携」と「人づくり」を掲げ、天台寺周辺、九戸城跡周辺、金田一温泉周辺の3地区において、住民と行政がそれぞれの役割を担い連携し、新たな交流を創出しながらエリアの価値向上による持続可能なまちづくりを目指すこととしています。</p> <p>(3) 金田一温泉周辺地区 金田一温泉周辺地区は、今年の3月に温泉郷活性化の核となる温泉宿泊施設「カダルテラス金田一」がオープンし、テラスやプール、公園などを活用したイベントの実施など、地域活動組織と連携し、地域の賑わいづくりを進めております。</p> <p>また、地域の特徴であるリンゴや酒米、うるち米「きらほ」などの農業や豊かな自然や食材といった強みを生かしながら、温泉地域でイベントを開催している地域団体WAKAS湯田areas(わかすゆだえりあす)、市内の宿泊施設が整備したプライベートキャンプスペースYUDABASE(ゆだべーす)の開業など、農家や温泉旅館と一体となったまちづくりが動き出しているところです。</p> <p>今後、このような地域特性を活かし、訪れる人にとって魅力的な地域づくりや、暮らす人にとっても他に自慢できるようなまちをつくるため、農家や温泉旅館等との連携による新たな体験コンテンツによる集客や、周辺をゆったり散策できる環境整備の推進に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>つきましては、カダルテラス金田一や金田一近隣公園を核として、地域資源を活用した稼ぐまちづくりを推進するため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>		県北広域振興局		

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 金田一温泉エリアにおける農家と連携した取り組みへの支援など、情報発信やイベント開催などを含めた観光振興支援</p> <p>2 温泉駅や国道と地区内を結ぶ安全な移動空間の確保に向けた一般県道金田一温泉線の早期整備</p>	<p>1 県では、今年度、ニューヨーク・タイムズ紙の効果を踏まえ、盛岡市に来た国内外の観光客を広く周遊させるなど、その効果を全県に波及させるよう取り組んでおり、県北地域については、一戸町の御所野遺跡を会場に、二戸地域の食や酒などを活用したイベントの開催を関係市町村・関係観光協会等と連携して取り組みました。</p> <p>また、令和6年1月から3月までの3ヶ月間、「自然・絶景」、「歴史・文化」、「食」等をテーマに冬季観光キャンペーンを展開し、金田一温泉エリアを含む二戸地域の祭りや体験イベントなど地域の魅力のPRや、様々な産業等と連携した誘客拡大、広域周遊の促進等に取り組んでいます。</p> <p>県北広域振興局では、令和4年度、金田一温泉エリアにおいて、体験メニューの企画を支援しており、令和5年度においても、地元の動きを支援しながら、農業体験メニューなどの情報発信にも取り組んでいきます。</p> <p>2 一般県道金田一温泉線については、「金田一工区」として令和4年度に事業化したところであり、周辺をゆったり散策できる環境整備には、隣接する市道と一体となった整備が必要であることから、市道の整備推進に御協力いただくとともに、引き続き貴市と調整を図りながら整備推進に努めていきます。</p>	<p>県北広域振興局</p> <p>県北広域振興局</p>	<p>経営企画部</p> <p>土木部</p>	<p>B:1</p> <p>A:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	5 青森・岩手県境不法投棄事案への取組について	<p>【要旨】 青森・岩手県境不法投棄現場について、事案からの教訓と再生した環境を未来に伝え、持続可能な社会への認識が高まる場とするため、跡地の利活用につきましても、県が主導して取組を進めていただきますよう、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 平成11年に発覚した国内最大規模の青森・岩手県境不法投棄事案につきましては、「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」、いわゆる特措法に基づき、不法投棄物の全量撤去および汚染土壌、地下水の浄化や地形整形に取り組み、令和4年度をもちまして、生活環境保全上の支障が生じることのない状態が確保されたとして、原状回復対策協議会において、現状回復宣言まで成しえていただいたことに、感謝申し上げます。</p> <p>引き続き、浄化対策後のモニタリング調査の継続実施のほか、土砂崩壊の恐れがある場所への防災対策のほか、新たな検討の場を設置し、公売の枠組みの中での跡地の利活用の検討など、なお継続して取り組むべき様々な課題があると認識しております。</p> <p>つきましては、新たな検討の場において、浄化対策の効果確認や教訓をいかした事案伝承の取り組みをはじめ、跡地の利活用につきましても、引き続き岩手県が主導して行うとともに、主体的に進めていただきますよう、特段のご高配をお願い申し上げます。</p>	<p>県では、行政代執行による原状回復事業を行うにあたり、有識者、地域住民、二戸市等で組織する「青森・岩手県境不法投棄現場の原状回復対策協議会」を設置し、合意形成を図りながら取組を進めてきたところですが、令和4年度で原状回復宣言を行うに至りました。</p> <p>今年度は、県境不法投棄事案の教訓の伝承方策や跡地活用の促進方策等について検討する「新たな検討の場」として、二戸市民や二戸市が参画した「県境不法投棄事案に関するフォローアップ会議」を設置しており、また、地域住民の安心感を醸成するため、原状回復の確認として場内井戸や周辺河川において必要な水質モニタリングも実施しております。</p> <p>引き続き、貴市、地域住民の皆様から御意見を頂戴しながら取組を進めていきます。</p>	県北広域振興局	保健福祉環境部	B:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	6 まちづくりと連動した持続可能な公共交通体系の実現について	<p>【要旨】 まちづくりと連動した持続可能な公共交通体系の実現について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 地域公共交通は、住民の日常生活及び社会生活の基盤として、単なる移動手段としてだけでなく、社会経済活動での重要な役割を担っているところであり、地域社会の維持・発展のために欠くことのできない存在であります。</p> <p>本市では、「二戸市地域公共交通計画」を基に、地域全体が連携した持続可能な公共交通の実現と、近隣自治体と連携した広域的な観光施策の展開を目指し、各種施策を推進することとしています。</p> <p>また、観光につきましては、事業者・近隣市町村・県と連携のもと、漆や歴史・文化、食などの地元の宝を魅せる取り組みを進めており、アフターコロナを見据えた施策展開に努めているところです。</p> <p>一方、急速な少子高齢化の進行や人口減少やモータリゼーションの進展により、路線バス利用者の減少や公共交通事業者の運転士不足などに加え、コロナ禍、燃料価格高騰での影響も甚大であり、公共交通を取り巻く状況は非常に厳しさを増しております。</p> <p>国、県におかれましては、事業者を対象とした支援策に取り組んでいただいているところであり、市におきましても、国、県の交付金を活用しながら、事業者支援に取り組んできたところですが、既存路線の多くが赤字となるなど、依然として、厳しい状況が続いております。また、事業者は、運転士不足という大きな課題を抱えながらバス路線など市民の足を維持している状況であります。</p> <p>つきましては、まちづくりと連動した持続可能な公共交通体系の実現について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>		県北広域振興局		

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 生活に欠くことができない広域路線維持のため行っている路線バス事業者への経営安定支援への参画</p>	<p>1 県では、市町村を跨いで運行している広域バス路線について、国庫補助に協調した補助及び県単補助により運行欠損額に対する補助を行っており、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、令和2年度から要件の緩和や補助額の減額調整を適用しないこととする等の特例措置を継続するなど、状況に応じた支援を進めてきたところです。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症や燃料費の高騰等の影響により厳しい経営状況にある乗合バス事業者が、安全かつ安定した運行を維持し、地域住民の移動手段が確保できるよう、令和2年度から令和4年度にかけて運行支援交付金の交付などを行ってきたところです。</p> <p>令和5年度においても、4月及び12月補正予算でコロナ禍や燃油費高騰の影響を踏まえた交付金を措置したところです。</p> <p>今後も引き続き、社会情勢に応じて、路線バス事業者の運行する広域生活路線の維持・確保がなされるよう、適時適切に支援を行っていきます。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		2 バス路線を維持するため運転士確保に対する支援	<p>2 県では、バス事業者における現状を把握するとともに、運輸事業振興費補助により、岩手県バス協会を通じた大型2種免許取得助成、バスの普及啓発イベント開催等の支援を行ってきたところです。</p> <p>運転士不足は更に深刻化していることから、来年度から、乗合バス事業者に対し、運転士の確保や採用活動、職場環境の改善等の取組に対する新たな支援を行うこととしたところです。</p> <p>また、運転士の不足は全国的な課題であることから、令和6年度政府予算提言・要望等において、バス運転士の待遇改善を進めるための具体的な支援策を講じるとともに、地方自治体が行うバス運転士の確保策に対する財政支援の実施を要望したところです。</p> <p>今後も引き続き、バス事業者やバス協会等の関係機関と連携を図りながら、運転士確保に向けた取組みを実施していくとともに、県と市町村で構成する地域内公共交通構築検討会等の場を通じて、バス運転士不足への対応について検討していきます。</p>	県北広域振興局	経営企画部	B:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	7 基幹産業である農畜産業への支援について	<p>【要 旨】 本市の基幹産業である農畜産業への支援について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理 由】 県北地区の農業所得の向上を図るには、この地域の強みを生かした高付加価値・高収益な果樹等の作物の栽培や、全国有数の規模であるプロイラー関連産業のさらなる躍進が必要です。 特に、本市は果樹栽培が盛んな地域であり、サクランボ、ブルーベリー、リンゴについてはブランドフルーツとして出荷され、特に「冬恋」については全生産量の過半数を生産する地域として認知されてきました。 しかしながら、果樹において、近年、温暖化による春の凍霜害などにより生育管理に苦慮する状況にあるため、10年後20年後を見据え県北地域の冷涼な気候に適した凍霜害などに強く高品質な作物・果樹品種の開発が急務であります。 また、将来にわたる持続可能な農業を実現するためには、農地基盤整備や集約型農業の推進のほか、労働力の確保などの課題解決が不可欠です。 一方、ニホンジカ、イノシシ、ハクビシンによる食害の報告があり、年々増加傾向にあります。本市においては、被害対策が施されていない農地が大半を占めている状況であります。 さらに、近年では一級河川馬淵川に堆積した土砂の影響による河川の氾濫で農地が浸水し、大きな被害を受けております。 つきましては、本市の基幹産業である農畜産業への支援について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>		県北広域振興局		

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 県北地域の気候に合わせた果樹の優良品種の開発に向けて、岩手県農業研究センター県北農業研究所への果樹部門の設置</p>	<p>1 県では、これまで、北上市に設置した岩手県農業研究センター本所(以下「農研」という。)に研究資源を集中し、初の県オリジナルりんご品種である「きおう」や、着色及び食味が良好で9月下旬に収穫可能な「紅いわて(べにいわた)」、主力品種の小玉化が懸念される県北・沿岸部等の地域でも肥大や食味が優れる「大夢(おおゆめ)」、着色が良く貯蔵性に優れる「雪いわて」を開発し、特色のある産地づくりを支援してきたところです。</p> <p>今後も、消費者や実需者ニーズに対応した食味、加工適性が高い品種や、本県の気象条件に適した着色・貯蔵性等に優れた優良品種の開発を進めていきます。</p> <p>また、今後の温暖化などの気候変動を見据え、県北地域の気候に適した果樹の高品質安定生産技術や優良品種の開発や新たに県北地域での生産可能性が見込まれる品目の技術開発等を行っていくため、県北農業研究所に、「果樹・野菜研究室」を新設するほか、担当職員を1人増員し、温暖化による作物の生育環境変化に対応した果樹の技術開発研究を推進し、生産者の収益力向上を支援してまいります。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>A:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p>2 収益性向上の実現に向けた中山間地区にマッチしたスマート農業の推進への技術及び財政的支援</p>	<p>2 県では、「いわて県民計画(2019～2028)」地域振興プランに基づき、全域が中山間地域である「北いわて」の農畜産業について、高度な生産技術の導入等による生産性の向上、農畜産物のブランド化などに取り組んでいます。</p> <p>スマート農業技術の普及に向けては、これまで、小型光合成促進機等をパイプハウスに導入する低コスト環境制御技術の実証展示や、令和5年度から「データ駆動型農業推進事業」により、県農業研究センター県北農業研究所において自動操舵農機をフル活用した効率的な栽培体系の開発・実証や環境制御を活用した雨よけほうれんそうの増収技術の開発・実証に取り組んでいます。</p> <p>また、県北広域振興局では、地域経営推進費を活用した「スマート果樹栽培推進事業」により、令和5年度は、アシストスーツや自動ロボット草刈り機などのスマート農業技術導入に向けた実演会を開催するなど、北いわて地域の気象条件や土地条件に適応したスマート農業技術の確立に取り組んでいきます。</p> <p>こうした取組により確立された中山間地域でのスマート農業技術については、「地域農業計画実践支援事業」や、「産地生産基盤パワーアップ事業」等の補助事業により必要な機械・施設等の導入を支援し、普及、拡大を図っていくこととしています。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>A:1、 B:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p>3 農地の効率的・総合的な利用及び、次の担い手になくため基盤整備の早期完成の推進</p>	<p>3 県では、二戸市内において担い手の明確化や農地の集積・集約化を支援しながら、水田の区画の拡大や汎用化、果樹などの園芸作物の栽培に必要な水を供給する畑地かんがいの導入など、地域の立地特性やニーズを踏まえた基盤整備に取り組んでおり、穴牛・村松・谷地地区(あなうし・むらまつ・やち)、福田地区(ふくだ)及び山内地区(さんない)の事業完了を目指し整備を進めています。</p> <p>こうした基盤整備は、生産コストの低減や高収益作物の導入、果樹の防霜や収量・品質の向上など、農地の効率的・総合的な利用や農業所得の向上に加え、農業経営の安定による担い手の確保にも効果を発揮するなど、農業振興に欠かすことができないものであることから、地域の整備要望に応えられるよう、引き続き必要な予算の確保に努めつつ、計画的に推進していきます。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>B:1</p>
		<p>4 鳥獣害被害防止のための研究及び指導</p>	<p>4 野生鳥獣による農作物被害を防止するためには、個体数を適正に管理するとともに、野生鳥獣から農作物を守る、農場に寄せ付けないといった対策を総合的に実施していくことが重要です。</p> <p>県では、野生鳥獣による農作物被害低減に向けた活動をさらに強化するため、「岩手県鳥獣被害防止対策連絡会」を改編し、現地支援体制の充実や被害防止技術の普及などを進める「岩手県鳥獣被害防止対策会議」を令和5年5月に設置したところです。</p> <p>さらに、県内各地における被害防止対策の強化や被害防止技術の実証及び普及を推進するため、県と市町村で構成する「現地対策チーム」を設置することとしました。</p> <p>二戸地域の「現地対策チーム」では、鳥獣被害対策の周知を目的とした研修会の開催や被害の実態把握を進める予定であり、今後「現地対策チーム」での検討も踏まえながら、地域における被害防止対策を促進していきます。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>B:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		5 一級河川馬淵川における金田一長川地区及び舌崎地区の河道浚渫による河川断面の確保	5 馬淵川では、令和5年度に舌崎地区において浸水被害の軽減を図ることを目的とした河道浚渫を実施しました。 金田一長川地区は現地の状況を確認しながら、今後の方向性を検討していきます。 今後も現地の状況を確認しながら、河川の適切な維持管理に努めていきます。	県北広域振興局	土木部	A:1、 C:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	8 日本を支える漆文化の振興について	<p>【要 旨】 日本を支える漆文化の振興について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理 由】 本市の漆文化は、国産漆の7割以上を生産する最大産地であり、また、漆生産から漆器作りまで地域で一体的に行われてきたことなど、受け継がれてきた伝統技術が高く評価され、日本遺産の認定やユネスコ無形文化遺産へ登録されました。</p> <p>国産漆は、国宝・重要文化財などの保存・修復にも使用され、需要の高まりから増産が急務となっており、安定的な漆の確保のため、原木確保や漆掻き人材の育成に取り組んでおります。</p> <p>特に、漆原木の確保は、遊休農地、荒廃農地対策にも寄与するとの考えから、平成30年度から農地植栽に対する独自の苗木の購入支援を行っておりますが、より多くの原木を確保に向けては、浄法寺漆認証エリアである岩手県全域、特に古くから漆文化が盛んである県北地域において、植栽の増加が必要と考えております。</p> <p>また、売上が伸びる漆器販売の強化を図るとともに、一貫生産の確立に向けた、新たな一歩として、塗師の育成にも取り組んでおります。</p> <p>つきましては、日本を支える漆文化の振興のため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 原木確保のため広域的な漆苗木植栽に対する支援</p>	<p>1 県北広域振興局では、年間30,000本の漆原木の確保に向けて、地域経営推進費を活用し、苗木生産省力化の検証や育苗管理の適正化などに取り組んでいるところです。</p> <p>漆の植栽については、森林整備事業や最適土地利用推進事業等の活用が可能であり、県北広域振興局としては、二戸市以外の町村において広域的に漆林が確保されるよう、森林所有者、関係団体等に対して、漆の植栽を働きかけていきます。</p>	<p>県北広域振興局</p> <p>県北広域振興局</p>	<p>林務部、農政部</p>	<p>B:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		2 県内外での物産展等を通じた漆器の販路拡大への支援の継続	<p>2 県内における漆器の販路拡大の支援については、これまで県内外の百貨店等における物産展・工芸展の開催等を通じて、販売機会の創出及び事業者の売上向上に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>加えて、県内の漆器生産者・販売者との情報共有や取組の連携や漆文化の発信等を推進するため、いわて漆集いの開催や関係機関との連携会議を実施してきております。</p> <p>引き続き、研究者や業界団体、民間企業等の連携強化を図るとともに、物産展や展示会への出展等を通じ、漆器の販路拡大にも取り組んでいきます。</p> <p>また、県北広域振興局では、漆器など地場産業に携わる事業者の展示会、商談会への出展経費を助成するなど、販路拡大の取組を支援しているところです。</p>	県北広域振興局	経営企画部	B:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	9 ヒメボタル生息地の保護と活用について	<p>【要 旨】 岩手県の天然記念物であります「折爪岳のヒメボタル生息地」として、地域資源の保護と活用を図るため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理 由】 県立自然公園及び森林公園に指定されている折爪岳は、初夏には100万匹ともいわれるヒメボタルの観賞のために観光客が多く訪れるほか、近年のアウトドアブームもあり、年間を通じた来訪があります。 本市では、平成30年に「折爪岳のヒメボタル生息地」として、岩手県の天然記念物指定を受け、県施設の指定管理委託や、観光地としての情報発信、地域の児童・生徒への「学習体験型イベント」を実施し、次代へつなげる取組を展開するなど、保存と活用に努めているところです。 しかしながら、ヒメボタルの生態や生息環境には不明な点が多く、専門家の知見を基に生態系全体についての保全活動が必要とされ、計画的な保全環境整備や受入施設の継続的な環境整備が課題であります。 つきましては、「折爪岳のヒメボタル生息地」として、地域資源を生かした観光が適正な保護のもと定着し、将来に向かって安定的に活用を図るため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>		県北広域振興局		

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 豊かな地域資源を学ぶ機会を創出するため、折爪岳ふるさと自然公園センター及びもりの学び舎内の写真パネルや模型などの展示の刷新</p>	<p>1 折爪岳ふるさと自然公園センターは、平成9年度に建設され、展示施設については、建設当時から更新されていないことから、展示物の更新や修繕等の必要性は認識しているところです。</p> <p>一方、県が管理する自然公園施設の整備や改修については、県内各地から多くの要望をいただいております。必要性や緊急性、事業規模等を考慮しながら順次整備等を進めているところです。</p> <p>建設当時に活用した環境省の補助金は、現在、県立自然公園は補助対象外となっていることから、早急な改修は困難ですが、施設管理者である貴市と意見交換しながら、整備のあり方について、検討していきます。</p> <p>また、もりの学び舎の展示物については、令和4年度に、就学前等の幼児も楽しみながら木製品とのふれあいを通じて木材へ親しみ、木材の良さや利用の意義を学べる木育スペースの整備を行っており、設置した大型遊具には、ヒメボタルや折爪岳周辺で見られるカモシカなどの動物をモチーフとしたイラスト等を配置するなど、地域資源の活用に配慮した施設整備を実施したところです。</p> <p>今後も、折爪岳森林公園の指定管理者である貴市と意見交換しながら、展示物等のリニューアルについて、検討していきます。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部、林務部</p>	<p>A:1、 B:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p>2 来訪者の満足度向上、安全確保のための県保有施設の改修、修繕</p>	<p>2 今年度は、来訪者の利便性向上のため、ふるさと自然公園センター及びオートキャンプ場の和式トイレを洋式化する工事を実施予定です。</p> <p>折爪馬仙峡県立自然公園内の施設管理については、貴市に委託し、実施しているところですが、現時点で、貴市に管理委託している自然公園施設において危険箇所は確認されておりませんが、今後とも貴市と連携して、県立自然公園の適正な管理に取り組みます。</p> <p>また、もりの学び舎については、令和5年度にトイレの洋式化と煙突の修繕を実施しました。</p> <p>ヒメボタル生息地内では、令和4年度に木橋の改修を実施したほか、令和5年度には案内板の改修と誘導標識の新設・改修、生息地の隣接地にあるテーブルとイスのうち2組の改修を実施しました。</p> <p>今後とも、折爪岳森林公園の指定管理者である貴市と意見交換しながら、県保有施設の改修、修繕について検討していきます。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部、林務部</p>	<p>A:2</p>
		<p>3 「折爪岳のヒメボタル生息地」保護のための環境調査並びに生態調査への支援</p>	<p>3 県では、ヒメボタルの生息密度の高い折爪岳山頂付近については、森林公園の利用区分を「自然観察ゾーン」としており、要望のありました環境調査等についても十分に活用していただける区域としています。</p> <p>今後とも、相互に情報共有を図りながら、フィールドの提供など引き続き支援してまいります。</p> <p>また、ヒメボタルは、「いわてレッドデータブック(2014)」において、現状では絶滅の恐れはありませんが、優れた自然環境の指標である種としています。</p> <p>環境調査等への支援については、貴市において事業を実施される場合は、県の環境アドバイザーの派遣や、希少野生動植物保護検討委員会の委員を務める専門家の紹介などの支援が可能ですので、御相談ください。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部、林務部</p>	<p>A:2</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p>4 登山者や来訪者の安全確保のため、県立自然公園内及び森林公園内の登山道及び管理道の整備並びに適正な森林管理</p>	<p>4 折爪馬仙峡県立自然公園内の施設管理については、貴市に委託し、実施しているところです。</p> <p>現時点で、貴市に管理委託している自然公園施設において危険な箇所は確認されておりませんが、今後とも貴市と連携して、県立自然公園の適正な管理に取り組めます。</p> <p>また、登山道や管理道の整備については、折爪岳森林公園の指定管理者である貴市から情報を提供していただきながら、必要性、緊急性等を考慮し、対応を検討していきます。</p> <p>森林公園内の適正な森林管理については、これまでも指定管理の中で遊歩道の刈払い等を行ってきたところであり、公園利用者が安心して利用できるよう、引き続き適正な森林管理に努めてまいります。</p>	<p>県北広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部、林務部</p>	<p>A:1、 B:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	10 産業技術人材の育成と稼げる産業づくりに対する支援について	<p>【要旨】 産業技術人材の育成と地域の特性を生かした稼げる産業づくりのため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 本市では、高校新卒者をはじめとする若年者の市外流出による人口減少が大きな課題となっております。地域経済の活性化及び雇用の拡大を図るためには、市外からの企業誘致も重要であります。産業技術人材の育成と地域企業や既存の誘致企業への支援が必要であると考えております。</p> <p>令和5年3月における管内高校卒業者の動向を見ますと、就職した90名のうち、管内就職者数が44名で、管内就職率は45.5%となっております。特にも在学中に資格を取得できる工業高校卒業者の大半が即戦力として管外に就職している状況であります。高校卒業とともに多くの人口が流出しており、地元への定着や人材育成が喫緊の課題となっていることから、地元の魅力ある人材育成の場を提供し、地元の人材資源として活用し、地元の産業を伸ばすサイクルの構築が必要であると考えております。</p> <p>また、稼げる産業をつくるためには、地域企業の事業拡大や新たな事業展開を推進することが、地域経済や地域産業を振興するための優先策と考えております。現在県と市が連携し、中小企業者が生産性向上等に資する設備導入を支援する「県北広域産業力強化促進事業費補助金」がありますが、厳しい雇用情勢の中、新規常用雇用者数が3人以上という要件が制度を活用する際のネックとなっております。</p> <p>つきましては、産業技術人材の育成と地域の特性を生かした稼げる産業づくりのため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>		県北広域振興局		

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 「二戸高等技術専門校」を短期大学化し、生産技術科など高度な技能・技術の習得に対応した訓練科の新設について</p> <p>2 県北広域産業力強化促進事業費補助金における雇用条件の緩和について</p>	<p>1 少子化に伴う社会減や人口流出は、二戸地域も含め県全体の課題と認識しているところであり、県北地域に加え、県全体で産業人材をどのように育成・確保していくかといった観点から、産業技術短期大学校のみならず、高等技術専門校を含めた県立職業能力開発施設のあり方と併せて示していくことも必要であると考えています。</p> <p>二戸高等技術専門校を短大化することにつきまして、現在の自動車システム科と建築科の機能をどうするかといったこと、また、「北いわて産業技術人材育成強化構想検討会議」で検討された意見などを踏まえて、市町村等との連携を確保しながら今後検討を進めていきます。</p> <p>2 県北広域産業力強化促進事業費補助金は、県北地域における産業力の強化及び労働力の確保を目的として、平成29年度に制度を創設したところです。</p> <p>県の支援制度は、一定の投資や雇用など、経済波及効果が高いものを対象としているところであり、限られた財源を効果的に活用できるよう、産業の動向や企業ニーズ、地域経済や他産業への波及効果等を踏まえ、引き続き、効果的な支援制度について検討していきます。</p>	<p>県北広域 振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B:2</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	11 都市計画街路荒瀬上田面線の整備について	<p>【要旨】 児童生徒をはじめとする歩行者の安全・安心の確保と、九戸城跡を中心とした公民連携まちづくりをより一層推進するため、都市計画道路荒瀬上田面線の整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 都市計画道路荒瀬上田面線の整備につきましては、令和5年度の完成予定である岩谷橋工区をはじめ、これまでも歩道の整備や橋りょうの架け替えなど、安全・安心な道路環境整備が着実に進んでいることに対し感謝申し上げます。</p> <p>しかしながら、本路線においては、平成12年11月28日、福岡字五日町で集団登校中の小学生の列に飲酒運転の軽トラックが突っ込み、児童2名が死亡するという交通死亡事故が発生するなど、未整備区間においては、限られた道路幅員で車道と路側帯(グリーンベルト)を確保していることから、歩行者と車両の距離が近く、双方とも危険な状態となっております。</p> <p>特に、児童生徒は本路線以外に通学路として確保できる道路がないため、このような状況下での通学を余儀なくされており、子供たちの安全・安心確保が急務となっております。</p> <p>また、岩谷橋工区に隣接する九戸城跡については、本年4月に本丸が一般開放され、市民の散策の場であるとともに、この史跡を地域づくりに結びつけるための環境整備を行っております。今後は公民連携基本計画に基づき、市民と行政がお互いの力を発揮しながら、新しい人の流れと経済循環を生み出す「公民連携による稼ぐまちづくり」をより一層推進することとしております。</p> <p>つきましては、岩谷橋工区完了後、引き続き南側への整備による市民の安全・安心の確保、加えて、利便性の向上のため、都市計画道路荒瀬上田面線の整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>岩谷橋工区から南側の区間については、早期の整備は難しい状況ですが、今後の交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。</p> <p>なお、本地区においては、過年度に整備した歩行空間の安全な通行を確保するため、路側へのカラーライン設置などの交通安全対策に取り組んでいるところです。</p>	県北広域振興局	土木部	C:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	12 岩手県が管理する道路の整備について	<p>【要旨】 地域の特色を活かした産業振興と市民の安全安心確保のため、県の管理する道路の整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 本市では、国土強靱化地域計画などに基づき、産業活動を支え安全・安心で利便性の高い道路環境の確保に取り組むとともに、一級河川馬淵川を横断する橋梁整備なども計画し、その実現に向け準備を進めているところです。 また、土地区画整理事業により二戸駅東側の公共交通拠点となる駅前広場を整備するなど、地域の賑わいが創出される街づくりを行っております。 県におきましては、主要地方道二戸五日市線、主要地方道二戸田子線、一般県道二戸軽米線の整備など取組いただいているところですが、市内にある県道には狭隘な区間や急カーブの区間、歩道のない区間が多数存在し、プロイラーや葉たばこといった本市の特色ある産業振興、あるいは、児童や高齢者をはじめとする住民の安全確保を図るため、早期の道路改良及び歩道設置が求められております。 つきましては、市道と県道の整備による市民の安全・安心の確保、加えて、利便性の向上のため、引き続き、主要地方道をはじめとした県道整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 主要地方道二戸五日市線 柿ノ木平工区から八幡平市境までの早期完成</p>	<p>1 柿ノ木平地区から八幡平市境までの区間のうち、八幡平市側の約1.9kmについては、「柿ノ木平工区」として令和3年度に事業化し、令和5年度は用地取得、建物補償を進めてきたところです。 その他の区間は、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。</p>	<p>県北広域振興局</p> <p>県北広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A:1 C:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		2 一般県道金田一温泉線 湯田地区から段ノ越地区までの早期完成	2 湯田地区から段ノ越地区までの区間については、「金田一工区」として令和4年度に事業化し、令和5年度は道路詳細設計を進めました。 引き続き、貴市と調整を図りながら整備推進に努めていきます。	県北広域振興局	土木部	A:1
		3 一般県道二戸軽米線 福岡字妻ノ神地区の狭隘区間の早期解消	3 妻ノ神地区については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。	県北広域振興局	土木部	C:1
		4 主要地方道二戸九戸線 白鳥地区内約1.4kmの改良整備及び矢神地区内約300mの歩道整備 【白鳥:建設課、矢神:環境課】	4 白鳥地区は、前後区間に比べて幅員が狭く、歩道もないことから整備の必要性を認識しています。改良整備については、当該区間に用地課題もあり、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。 なお、当地区の交通安全対策等について、平成30年度から、令和元年度に地域住民との懇談会を3回開催しており、その中で要望のあった歩行スペースのカラー舗装化や線形誘導標の設置、側溝の取替については令和元年度、工事を行ったところです。 歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性を考慮しながら整備を進めている状況です。 矢神地区については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。	県北広域振興局	土木部	C:2
		5 一般県道上斗米金田一線 牛間木地区から金田一川地区間約3.3kmの狭隘区間の改良整備	5 牛間木地区から金田一川地区については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。	県北広域振興局	土木部	C:1
		6 一般県道道前浄法寺線 高原橋から約1.4km、細田地区から手倉森地区まで約7.0kmの狭隘及び線形不良区間の改良整備	6 高原橋から1.4km区間及び細田地区から手倉森地区については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。	県北広域振興局	土木部	C:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		7 一般県道野々上斗内線 県境まで約1.0kmの狭隘区間の改良整備	7 青森県境までの1.0kmの狭隘区間については、早期の整備は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。	県北広域 振興局	土木部	C:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
	13 岩手県が管理する河川の整備について	<p>【要旨】 治水による市民の安全安心確保のため、県の管理する河川の整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 本市では、平成23年・25年の台風災害をはじめとして、たびたび水害に見舞われており、災害に備えた避難所の整備や物資の備蓄などソフト面での取組を主に進めているところです。 県におかれましては、平成26年度に安比川を水防警報河川の指定、平成29年度には、馬淵川米代川新井田川圏域洪水減災対策協議会を創設するとともに、平成28年度からは、馬淵川上流圏域河川整備計画に基づき、河川改修に着手するなど、ハード、ソフト両面での対策を講じていただいているところであります。 しかしながら同整備計画では、整備箇所が多さなどから相応の事業費を要することになり、計画対象期間が河川整備計画策定から概ね30年間とされております。 つきましては、市民の生命、財産を守ることに直結する馬淵川及び安比川の早期整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>安比川については、門崎地区において、令和3年度から工事に着手しています。今後も早期完成に向けて取り組んでいきます。</p> <p>馬淵川については、堀野地区において、これまでに河道掘削、低水護岸等の河川整備を進めてきたところであり、引き続き要整備区間の早期完成に向けて取り組んでいきます。</p> <p>また、これらのハード対策に加え、ホットライン及びタイムラインの運用、水位周知河川及び洪水浸水想定区域の指定拡大、さらに、令和元年度から危機管理型水位計の運用、令和2年度からは簡易型河川監視カメラの運用を開始するなど、ソフト施策にも取り組んでいます。</p>	県北広域振興局	土木部	A:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	14 地域医療の充実及び医師確保について	<p>【要旨】 地域医療の充実及び医師確保について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 県立病院は、地域における中核的診療施設として、地域住民の医療の拠点となっており、市が実施する検診結果に基づく精密検査や予防接種の実施などに多大なご協力をいただいております。</p> <p>県立二戸病院は、久慈・二戸周産期医療圏における地域周産期母子医療センターとして、県北地域の安全で安心な妊娠、分娩環境を提供いただいております。</p> <p>また、小児科においては、常勤医師が昨年増員となったことに加え、非常勤医師の勤務体制も強化いただくなど、産後の母子医療の充実により多大なご配慮をいただいております。</p> <p>しかしながら、常勤医師不在の診療科があること、施設や高度医療機器等の計画的な更新、強化などと合わせ、診療体制の維持・充実が望まれています。</p> <p>次に、地域型認知症患者医療センターとして指定されている県立一戸病院は、県北地域の精神疾患患者を一手に引き受けていただいております。高齢化率と自殺率が高い二戸地域においては、県立一戸病院を中核として精神保健、自殺予防対策及び認知症対策を行っていただいておりますが、特に認知症対策については、今後さらに必要性・重要性が高まるものと考えております。</p> <p>また、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行にみられるような新興感染症の発生するリスクに加え、家禽類の飼育が盛んで新型インフルエンザの発生リスクが懸念される当地域においては、感染症指定医療機関としての機能維持が非常に重要となっております。</p> <p>つきましては、さらなる地域医療の充実及び医師確保について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>		県北広域振興局		

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 県立病院の高度医療体制の維持、確保</p> <p>2 県立二戸病院の不在診療科の常勤医師の確保</p> <p>3 県北地域の周産期医療の拠点として県立二戸病院の産婦人科体制の維持</p>	<p>1 県立二戸病院は、「岩手県立病院等の経営計画〔2019-2024〕」において、圏域の基幹病院として、二次救急医療やがん医療、周産期医療等の高度・専門医療を担うこととし、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、救急告示病院等の指定を受けており、それに伴う施設設備、診療体制等の維持に努めています。 引き続き、圏域の基幹病院として、地域の高度医療体制の維持、確保に努めていきます。</p> <p>2 県立二戸病院において、常勤医師が不在となっている呼吸器内科、皮膚科、耳鼻咽喉科及び精神科への常勤医師の配置については、これまでも関係大学に対して派遣を要請しているところですが、派遣元の大学においても医師の絶対数が不足していることから非常に厳しい状況が続いています。 このため、地域の医療事情等を考慮の上、診療体制を確保できるように関係大学に要望し、関係大学からの診療応援や県立病院間の連携等により診療体制の維持に努めているところです。</p> <p>3 現在の4つの周産期医療圏については、患者搬送や受療動向及び限られた医療資源を踏まえ、岩手県周産期医療協議会における協議を経て、平成20年4月に設定したところです。 久慈・二戸圏域では、県立久慈、二戸両病院を「県北地域周産期母子医療センター」として、機能分担と連携による診療体制で取り組んでいるところであり、二戸病院には引き続き常勤医6名を配置しています。 県としては、保健医療計画に基づき、安心して妊娠・出産ができる周産期医療の充実に努めていきます。</p>	<p>県北広域振興局</p> <p>県北広域振興局</p> <p>県北広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p> <p>保健福祉環境部</p> <p>保健福祉環境部</p>	<p>B:1</p> <p>B:1</p> <p>A:1</p>

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
		4 自殺予防と認知症対策のための、県立一戸病院の診療体制の維持	4 県立一戸病院の精神科については、平成28年度から今年度にかけて常勤医の増加を図ってきたところです。引き続き、関係大学を訪問し医師の派遣を要請していくほか、即戦力となる医師の招聘や奨学金養成医師の計画的な配置等により医師の確保に取り組んでいきます。	県北広域振興局	保健福祉環境部	B:1
		5 感染症対応のための、県立一戸病院の機能維持	5 新興感染症への対応については、令和5年度中に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症予防法)に基づく予防計画を策定することとされていることから、その検討内容を踏まえて、一戸病院に必要な医療提供体制の整備に努めていきます。	県北広域振興局	保健福祉環境部	B:1

二戸市 二戸市

要望月日	要望項目	要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
7月5日	15 県立福岡高等学校校舎の全面改築について	<p>【要旨】 県北地域における高校教育の中心校である県立福岡高等学校の校舎の全面改築について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>【理由】 県立福岡高等学校は、明治34年の創立以来、120年の長きにわたり県北地域の高校教育の中心校として、また、進学拠点校として、地域にとって非常に重要な位置づけとなっております。</p> <p>同校は、「文武両道・質実剛健」を校是に、教育目標「知・徳・体の調和のとれた人間の育成」を掲げ、これまで幾多の社会に有為な人材を輩出してまいりました。</p> <p>更に近年は、本市と連携事業を実施し、グローバルな視点で地域課題を探究する活動をとおして二戸地域の将来を担う人材育成等が行われ、共に地方創生を推進しているところです。</p> <p>併せて、本市においては、市内県立高校への進学率を高めるため高校魅力化推進事業を展開し、生徒数の確保に力を注いでおります。</p> <p>このような中、同校の校舎は、昭和42年から5期に渡り改築されておりますが、既に建設から55年が経過し、教室やトイレ、暖房設備等をはじめ、校舎全体の老朽化が顕著にあらわれてきており、時代に対応した教育環境の整備を図るべきと考えております。</p> <p>つきましては、県北地域における高校教育の中心校として、教育効果の向上を図り、より魅力ある学校づくりが推進できるよう、県立福岡高等学校の校舎の全面改築について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>県立学校施設の多くは、昭和40年代から50年代にかけて生徒の増加に対応して整備されており、老朽化が進む中で、一斉に改築・改修の時期を迎え、施設整備の需要が増大しています。</p> <p>現在、学校施設の経過年数のみではなく、建物や設備の劣化状況に応じて、改修や修繕を行っており、福岡高校についても、これまで、屋上防水や暖房配管の修繕のほか、トイレの洋式化等を行ってきています。</p> <p>今後も、十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心な教育環境を目指して、新たな県立高等学校再編計画後期計画との整合性を図りながら、施設の老朽化の状況に応じて、計画的に整備を進めていく必要があります。</p> <p>なお、必要な財源の確保も重要な課題であることから、引き続き、国に対して、公立高等学校施設への財政支援措置について、要望していきます。</p>	県北広域振興局	県北教育事務所	B:1